

今年の夏

今年の夏休み期間中、筆者は夏期講習を行いました。日程は4日間、参加人数は4名



でした。講習は「実践政経 経済分野」というタイトル名なので、大学入試問題を受講生が解き、その解答と問題解説を筆者が行うという形式で行いました。筆者自身も、8年ぶりの授業なのでなかなかスムーズに行かないこともありましたが、何はともあれ4日間の日程を無事熟すことはできました。

講習を行って改めて国公立大学の2次試験の問題や、早稲田大学などの難関私立大学の問題は、教科書や資料集に記載されていない

事項が出題されていることを再確認しました。例えば、需要や供給の価格弾力性、フィッシャーの貨幣数量説、J.K.ガルブレイスなどの経済学者名など、既習していれば難しい問題ではないのですが、現役の生徒にとっては、難関な問題と感じました。

8月19日に劇作家、評論家、演劇研究家の山崎正和氏が亡くなりました。山崎氏は関西大学や大阪大学教授、東亜大学学長、中央教育審議会長などを務めた人物でもあります。山崎氏の評論文は、高校の教科書では「水の東西」が記載されていますが、他に「柔らかな個人主義の誕生」「世界文明史の試み 神話と舞踊」などが有名であり、山崎氏の評論文は、大学入試問題で頻出されています。「水の東西」は、日本の「鹿おどし」と西洋の「噴水」との対比から、日本人の水という流れを間接的に感ずることを示しています。しかしながら山崎氏によると、この「水の東西」は評論ではなく、随筆だと言っています。山崎氏によると評論とは、結論の正確さが必要であり、論争可能な文章でなくてはいけないと言っています。そういう点では、「水の東西」は、結論が正確ではないかもしれないが、面白ければそれでいいと言っています。

今年の大学入試問題で、また、山崎正和氏の評論や随筆が出題されることがあるのかなと思うのは、筆者一人ではないと思います。大学入試問題では、その年に起こった大きな出来事や、ノーベル賞に関わること、アメリカ大統領の就任演説(英文)、偉人の生誕や没後の周年(例えば生誕100年、没後200年など)に合わせたものが出題されることは、少なからずあります。政治経済の出題に関しては、アメリカ大統領制、新型コロナ禍の不況に関するGDPや国債(赤字国債)などが出題される可能性はあります。

受験勉強や宿題、部活動、習いごと等で忙しい日々を送っているかもしれませんが、少し時間をつくって読書や、新聞を読んでみましょう。それが知見の幅を広げることに繋がります。



屋上防水補修工事が完了しました！

昨年の台風 15 号及び台風 19 号による西棟屋上の防水シートの破損に伴う補修工事が、7 月 10 日から 8 月 23 日まで行われ、無事、工事が完了しました。左図は、新しい防水シートが張られて補修工事が完了した西棟の屋上です。

下図が台風 15 号及び 19 号の被害を受け、防水シートが剥がれた写真です。防水シート

の耐用年数は約 15 年～20 年といわれていますが、本校の防水シートは西棟完成以来、大規模な改修はなく、昨年の台風でシートが捲れ、西棟 3 階～5 階にかけて雨漏りが発生し、教育活動に大きな支障がでていました。これで一安心と思っていたら、本校のエアコンの電気容量では、新型コロナウイルス感染防止の対策で換気した状態でエアコンを使用すると大幅に電気容量を超えることが判明しました。このままの状態では、クーラーが止まったり、変電室等で失火が起こったりするかわからず、西棟のブレーカーを落として対応することにしました。そのため西棟のエアコンを一時的に使用できない措置を取りました。また、使用しているエアコンも設定温度を設けて作動させています。学校として直ちに教育委員会と連絡を取り、至急、電気容量を増量するための工事を依頼してあります。暫くの間、生徒の皆さんには不便を掛けますが、節電等に協力してください。



トイレ洗面器自動水栓設置

新型コロナウイルス感染防止対策として、本校ではトイレの洗面器に自動水栓を設置することにしました。現在は、予算の関係で計画の半分しか設置していませんが、今後、補正予算が付き次第執行し、設置していきます。

また、この間にも、トイレの清掃について業者を入れて 3 回清掃・消毒を行っています。

新型コロナウイルス禍の関係で工事開始の遅れていた体育館の耐震工事についても、9 月より本格的に工事が始まります。生徒、保護者の皆さんに迷惑をかけますが、教育環境の整備、充実のため、ご理解・ご協力をお願いいたします。